

# 2022年度 まことこども園 自己評価公表シート

## 1・園の教育保育目標

「優しい思いやりのある子」

「明るい元気な子」

「何事にもがんばる子」

を教育保育目標とし、乳幼児期にふさわしい環境の下で、友達や保育者と楽しく充実した生活を営み、そして人間として生きる力の基礎となる、豊かな心、意欲、態度を育てること、すなわち『こころの育ち』を支えることを本園の目標としています。

## 2・2022年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに、設定した園評価の具体的な目標や計画

### 保育棟

安心して過ごせる環境を整備し、防げる事故を未然に防ぐ。引き続きマスクをしても感情や意思が伝わるよう意識をして保育を行っていく。

### 幼児棟

友達と会話を楽しみながら遊びを膨らませていく。自然に触れ合いながら季節や行事を通じて様々な成功体験を得て、何事にも自信を持って取り組む姿勢を身に付ける。

### 職員

様々なマニュアルを頭に入れ、有事の際には無意識にでも動ける様に全員が意識をして取り組む。報告・連絡・相談の大切さを再度確認し、徹底をする。

## 3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
愛着形成を基本とし、子供たちが安心して毎日登園出来るよう、一人一人の状況をよく把握する。	A	引き続きコロナ禍での保育となったが、子ども達の表情や気持ちの浮き沈みを捉え、一人一人の体調や気持ちに寄り添った保育を展開出来た。子ども達との触れ合いも感染対策を行いながら上手く進められた。
食事や運動を基本とし、日々の保育の中で友達や保育者との関りを楽しむ。子どもたちの意欲を引き出し、音楽・造形・英語など何事も楽しむ。	A	戸外ではマスクを外して思い切り遊ぶ姿が多く見られた。給食もおかわりも多く、毎日ほぼ残飯0だった。日々を活発に過ごすことで健康な身体を維持することが出来た。講師の先生とも相談・連携を取り意欲や好奇心を引き出すことが出来た。
職員の資質向上の為に、研修等に参加し、乳幼児理解に努める。	A	参加出来る研修の種類や回数が徐々に戻ってきたように感じている。オンラインでの研修にも慣れ体制が整った事で色々な研修に積極的に参加できた。また、AEDやエピペンの研修も受講することが出来たので、継続的に続けていきたい。

怪我、事故、災害時には職員全員が行動できるよう、安全に関する項目の共通理解を図る。また、園内環境整備にも目を配る。	B	今年度は保育業界の事故が相次ぎ色々なマニュアルや環境を再度確認をしたが、全部が職員全体に浸透しているか問われたら少し不安もあった。今後災害等にもすぐに行動できる様何度もマニュアルを読み返したり、確認をしながら進めていきたい。
保護者との信頼関係の構築に努める。	B	保護者の方からもたくさんのご意見を頂きましたが、柔軟に対応しながら進めることが出来た。しかしながら、怪我等に対しての対応の遅れ、上司への報告不足など、保護者に不信感を与えてしまう件も発生した。今後、報・連・相は徹底していきたい。

#### 4・園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は保育業界で色々な事件があった。園児の安全が最優先であるため様々な事柄に対応できる様、マニュアルや環境を再度整備し、職員に周知を行い理解を深めた。またコロナウイルスの関係で受講出来ずにいた、AEDやエピペンの講習にも参加する事が出来、知識・経験を得られた。</li> <li>・コロナ禍でも行事が対応出来るようになり、運動会や、発表会など大きな行事も保護者の方々に理解をいただきながらスムーズに進めることが出来た。</li> <li>・保護者からの相談や連絡を上司や担任に報告をするのが遅れた事が何度かあったので、報告はスピードを大切にしていきたい。また、園児の情報(食物アレルギー等)は職員同士でも共有し全体で保育することに努めていく。</li> <li>・職員の働き方も大きく見直す事が出来た。毎日フレッシュな状態で保育に臨める様、今後も職場環境を整えていく。研修にも多く参加し、自己研鑽に努めた。</li> </ul>

#### 5・今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全・衛生面の強化	遊具・保育室等、環境の見直し・点検(安全面に関して)。 今後、コロナウイルス対策の規制が緩和される予想なので、その都度、感染対策の見直し。
職員の自己研鑽	筑波大学 生活支援学研究室との連携 消防署との連携(AED使用講習等) 自身で学びたい研修への積極的参加。研修で得た知識・技能の共有。
小学校との連携	小学校へよりスムーズに進学出来るよう、交流を図る。 小学校の先生にも子どもたちの園での様子を見て頂き、理解してもらえよう進めていきたい。また、小学生と園児が接する時間を、引き続き設けていく。

#### ◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である